

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	三大都市圏環状道路とICアクセスを強化する道路整備												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大阪府												
計画の目標	大阪南部地域において臨海部と内陸部を連絡し、大阪都市再生環状道路（都市再生プロジェクト2次決定）の一部を構成することにより、当該地域における東西方向の交通混雑の緩和と既存高速道路の利便性の向上を図り、地域社会・経済活動の発展に寄与するとともに、府全域における災害に強いネットワークの確保、歩行者等の利用者に良好な歩道空間確保の提供と利便性の向上を図るものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	99,478	A	99,478	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H29末	H31末
1	本事業の整備により大阪南部地域における臨海部と内陸部の時間短縮や物流の効率化が見込まれるほか、災害時に強いネットワークが確保される。また、安全・安心で快適な道路空間の提供から円滑な交通流の促進が見込まれるとともに、主要交通施設周辺における良好な生活環境の確保が見込まれる。 南大阪地域の物流交流ルートの時間短縮率 主要都市間を連絡する道路時間短縮率 【1 - (事業後所要時間/事業前所要時間)】 × 100	10%	10%	29%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
三大都市圏環状道路とICアクセスを強化する道路整備（その2） 計画の期間H26～H31（6年間） 計画の期間が6年間のため、整備計画を2つに分けて登録												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	1・3・217-2 大和川線	バイパス L = 2.7km	松原市						82,500		-
	A01-002	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	3・1・1 大阪中央環状線外	現道拡幅 L = 300km	松原市外						16,978		-
											小計						99,478		
											合計						99,478		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大阪府道路室で評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年5月

公表の方法

大阪府ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

大阪南部地域における臨海部と内陸部の時間短縮の目標値を達成し、物流の効率化が図られ、事業効果が発現している。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

